



植物の話をしてしよう。

Makino talk scene

マキノ・トークシーン Vol.2

牧野富太郎の頭脳の中

いとうせいこう×牧野植物園

2017.3.12 sun

m_{ts}
Makino talk scene

[開園時間] 9:00~17:00 [休園日] 年末年始(12/27~1/1)

[入園料] 一般720円(高校生以下無料)、団体620円(20名以上)、年間入園券2,880円(1年間有効のフリーパス)

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

□駐車場無料(普通車195台、バス8台) □JR高知駅から車で約20分、高知自動車道「高知IC」から五台山方面へ約20分。空港からは「高知南IC」をご利用ください。□牧野植物園へはJR高知駅発の観光バス「MY遊バス」(毎日運行)をご利用ください。

絵: 高野文子

 **高知 牧野植物園**
The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden
〒781-8125 高知市五台山4200-6
TEL 088-882-2601(代表)
www.makino.or.jp

牧野富太郎の 頭の中



植物にまつわるさまざまな情報の発信・交流のためのイベント「マキノ・トークシーン Vol.2」では、牧野富太郎をテーマに座談会を開催します。自らの頭脳を無尽蔵の知識を蓄えた「蔵」に例えた「植物分類学者牧野富太郎」が、何を考えどのように生きたか——。植物好きで富太郎ファンを自認する作家・クリエイターのいとうせいこうさんをお迎えし、破天荒に生きた富太郎の生きざまと人間的魅力に迫ります。その高い先見性で、ユニークな活動を繰り広げているいとうさんを魅了した富太郎の姿や、植物分類学的、人文科学的視点から見た富太郎の姿を語り合いながら、現代に生きる私たちに時代を超えて届けられる、富太郎からのメッセージを読み解きます。

座談会終了後は職員による解説を聞きながら、いとうさんとともに巡る常設展示「牧野富太郎の生涯」見学会を行います。

2017.3.12 sun

座談会 【参加無料・申し込み不要】

出演者

いとうせいこう(作家・クリエイター)

水上元(牧野植物園園長)、藤川和美(植物研究課課長)
里見和彦(教育普及課課長)

【時間】13:30～15:00(13:00開場) ※終了後にサイン会を予定 【定員】140名

【参加方法】10:00～本館ウッドデッキにて整理券配布(先着順)

13:00より整理番号順に10名さまごとにご入場いただきます。

座席指定はありません。

常設展示「牧野富太郎の生涯」見学会 【参加無料・申し込み不要】

【時間】15:30～16:30 【定員】30名

【参加方法】15:10～本館ウッドデッキにて整理券配布(先着順)

【主催】高知県立牧野植物園



■いとうせいこう

日本の俳優、小説家、お笑いタレント、作詞家、ラッパー、ベランダーとして幅広く活動するクリエイター。1961年生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、講談社に入社。『ホットドッグ・プレス』などの編集部を経て、1986年退社。ヒップホップMCとして活動する傍ら、執筆活動も行い、1988年に発表した処女小説『ノライフキング』(新潮社)は第2回三島由紀夫賞、第10回野間文芸新人賞の候補作となった。2006年より、園芸ライフスタイルマガジン『PLANTED』(毎日新聞社)の創刊編集長を務める。2013年、東日本大震災をテーマとした小説『想像ラジオ』(河出書房新社)が、第26回三島由紀夫賞および第149回芥川龍之介賞候補、第35回野間文芸新人賞受賞。2014年『鼻に挟み撃ち』(集英社)で、第150回芥川龍之介賞候補。2006年『PLANTED』の取材のため牧野植物園に来園以降、2007年当園で公開生放送が行われた富太郎関連のラジオ番組への出演、2014年富太郎の植物採集の足跡辿った『MAKINO』(北隆館)への寄稿および帯文の執筆、2016年MCを務めたNHK 8Kスーパーハイビジョン番組「8Kで体験! 牧野植物ふしぎ図鑑」撮影のために来園するなど、当園との縁も深い。

■絵: 高野文子

独特の画風と世界観でカリスマの人気を誇る漫画家・イラストレーター。2014年発行の最新作『ドミトリーともぎんす』(中央公論新社)には、富太郎をモデルとした青年「マキノ君」が登場する。このチラシに掲載した壮年期の富太郎といとうせいこうさんのイラストは、本イベントのための描き下ろし作品。



植物の話しよう。

Makino talk scene

絵に添えてひとこと
こんにちは。
いとうせいこうさんと牧野博士のお姿を、マンガ絵にしてみました。
向き合うふたり。
なんと博士は今日一日だけ、いとうさんと同じお歳!
:というマンガならではの空想設定にさせていただきました。
うーむ、何だか男臭いおしゃべりが始まりそうですねー。
みなさんもぜひぜひ、耳をかたむけてみてください。

高野文子より。

植物にまつわる情報発信・交流

Makino talk scene

人々の出会い
情報との出会い

Meets



Makino + something

牧野植物園で生み出される何か



今回は植物の話というよりわしの話じゃ!